■ 令和5年度 群馬県立図書館サービスに対する評価結果について

公立図書館は、その目的と社会的使命を達成するため、時代の変化や要請に対応しながら、図書館利用者に質の高いサービスを提供していくことが求められています。

このことを実現するため、群馬県立図書館では、当館が目標としている主要なサービスについて、平成24年度から評価指標及び数値目標を設定し、その達成に向けて取り組んできました。

令和5年度の目標値に対する取り組み結果は次のとおりです。

目 標	評 価 指 標	実 績		評 価
		(目標値)	達成率	
①読書活動の推進	自館図書資料貸出冊数	200,967 (224,500冊)	89.5%	B
	ビブリオバトル参加者数	97 (80人)	121.3%	A
②高度な専門的情報サービスの提供	調査相談件数	4,991 (5,200件)	96.0%	A
	購入資料に占める高度専門的資料の割合(見直し)	28.7% (30%)	95.7%	A
③図書館ネットワークの充実強化	県域相互貸借点数※	35,135 (31,000点)	113.3%	A
	横断検索システムの検案件数	248,176 (334,500件)	74.2%	B
④県内図書館等に対する支援の充実	図書館等職員研修参加人数	244 (255人)	95.7%	A
	協カレファレンス件数	61 (59件)	103.4%	A
	学習支援図書貸出冊数	5,216 (6,500冊)	80.2%	B
⑤群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存	郷土資料受入冊数	2,670 (2,200冊)	121.4%	A
	デジタルライブラリーへのアクセス件数	24,661 (30,000件)	82.2%	B
⑥情報発信の充実等	ホームページアクセス件数	975,997 (843,000件)	115.8%	A
	メディア掲載等件数	53 (34件)	155.9%	A

※現在集計中のため、R4年度の数値を記載

○評価基準

評 価	評 価 内 容	評 価 の 目 安
A	数値目標をほぼ達成し、期待する成果があった。	90%以上
B	数値目標まで達成していないが、一定の成果があった。	70%以上90%未満
C	数値目標が達成できず、成果が不十分であった。	70%未満

1. 読書活動の推進

① 自館図書資料貸出冊数

(来館 + 他館への相互貸借)

指標の説明	1階中央図書室・子供読書相談室の図書資料及び、相互貸借（団体貸出を含む）による図書資料の貸出冊数を指標とする。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	224,500	200,967	89.5%	B
目標値設定の考え方	令和4年度の図書資料貸出数の推計は、中央図書室・子ども読書相談室で205,274冊、相互貸借で10,270冊で、目標を下回る計215,544冊と見込まれることから、令和5年度も令和4年度同様の目標を掲げ、引き続き企画展示の充実や相互貸借の利用アピールなどを行っていききたい。 (参考実績 R2：183,069、R3：224,447件、R4：207,894件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・実績：200,967冊 <ul style="list-style-type: none"> うち中央図書室・子ども読書相談室 190,355冊 相互貸借 10,612冊 ・引き続きX（旧Twitter）など広報媒体の積極的活用、企画展示の充実等により、図書資料貸出冊数の増加を図る。 ・相互貸借による貸出増に向け、引き続き県内図書館(室)を通じて、横断検索システム・相互貸借の積極的な利用を呼びかける。 			

② ビブリオバトル参加者数

指標の説明	ビブリオバトル大会の参加状況は、高校生や県民の読書活動推進の目安となるため、ビブリオバトル大会参加者数を指標として設定する。															
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価												
	80	97	121.3%	A												
目標値設定の考え方	令和5年度は令和4年度から10名増加した80名を目標値とする。募集定員は、群馬県のイベント実施ガイドラインにより、会場収容人数200人の半数以内とする。 (募集定員) 発表者20人 + 観戦者50人 + ボランティア10人 = 合計80人 (参考実績 R2：48人、R3：53人、R4：68人)															
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月3日実施（会場：県立図書館ホール） ・参加者 97人（令和4年度 68人） <ul style="list-style-type: none"> うち発表者 24人(令和4年度 22人)、観戦者 63人(令和4年度 39人)、ボランティア 8人(令和4年度 7人)、来賓 2人(令和4年度 1人) ※観戦者は付添 47人(令和4年度 39人)、一般 16人(令和4年度 0人) ・令和5年度と4年度との相違点 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> </tr> <tr> <td>付添者数／1発表者</td> <td style="text-align: center;">3人まで</td> <td style="text-align: center;">2人まで</td> </tr> <tr> <td>観戦者</td> <td style="text-align: center;">50人まで</td> <td style="text-align: center;">認めず</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td style="text-align: center;">10人まで</td> <td style="text-align: center;">10人まで</td> </tr> </table> ・令和6年度は新型コロナウイルス感染症の状況を見据え、感染対策を十分に行った上で、令和5年度並みの大会参加者数を目指す。 					令和5年度	令和4年度	付添者数／1発表者	3人まで	2人まで	観戦者	50人まで	認めず	ボランティア	10人まで	10人まで
	令和5年度	令和4年度														
付添者数／1発表者	3人まで	2人まで														
観戦者	50人まで	認めず														
ボランティア	10人まで	10人まで														

2. 高度な専門的情報サービスの提供

①調査相談件数

指標の説明	調査相談機能の強化とさらなる充実を目指すため、県立図書館の重要な業務の一つであるレファレンスサービスのうち、利用相談（書架案内や所蔵調査）を除く調査相談（事柄や事実調査、文献調査などの専門的情報提供サービス）の件数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	5,200	4,991	96.0%	A
目標値設定の考え方	この指標は主に調査相談室等のカウンターで対応した調査相談件数に関する数値であり、開館時間の増減の影響を受ける。 令和4年5月の最終週より通常開館しているが、まだ今後の感染症の警戒レベル等不透明な要素があることや、感染症対応のために利用制限をかけた影響などを勘案し、今年度も令和4年度の目標値と同件数を目標として達成に取り組む。 (参考実績 R2：4,838件、R3：4,856件、R4：5,024件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実績値より若干減少した。 ・インターネットが普及し、様々な情報をwebから簡単に入手できることによる環境の変化は、図書館のレファレンスサービスにも大きな影響を与えている。 ・若年層の利用者獲得に向け、SNS（X(旧Twitter)）等を活用し、調査相談室やレファレンスサービスの情報発信に引き続き取り組んでいく。 			

②購入資料に占める高度専門的資料の割合

指標の説明	県立図書館の役割として高度な専門的情報サービスを提供するため、調査研究のための専門資料、レファレンス資料、群馬県関係資料などの専門的資料を継続的に収集していく必要がある。さらに、市町村立図書館の購入する図書資料との棲み分けの明確化も求められている。専門的資料は、ページ(文字数)、索引の充実など制作コストがかかる一方で、多部数販売を見込めないために一般的には高額になる傾向がある。この専門性と価格の相関に着目し、購入資料における高度専門的資料（3,500円以上）の冊数の割合を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	30%	28.7%	95.7%	A
目標値設定の考え方	令和4年度の38%という目標は、1年間実施したところ非常に達成が困難であることがわかった。また、38%で運用すると、開架が難解な資料に偏りすぎる弊害も目につくことから、目標値を下げ30%としたい。 (参考実績 R2：25.3%、R3：32.8%、R4：31.7%)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・収集資料には、専門的資料以外にも郷土資料・児童向け資料など、高額ではないが購入すべき多様な資料がある。 ・これらをバランスよく収集するよう留意した結果、前年度実績(31.7%)を若干、下回った。 ・今後も県の中央館として、必要な資料をバランスよく収集するよう努める。 			

3. 図書館ネットワークの充実強化

① 県域相互貸借点数（新規）

指標の説明	相互貸借システムの活用状況は、県民の読書推進を全県的に進めていくための目安となるため、県域の相互貸借点数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	31,000	35,135	113.3%	A
目標値設定の考え方	「県域相互貸借点数」は、令和3年度に新設した評価指標である。令和3年度に達成できなかった目標値と同点数を今年度の目標とする。 (参考実績 R2：11,908点、R3：29,452点)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度実績は現在集計中（例年9月頃終了）のため、令和4年度の数値を記載。 ・令和4年度は新しいポスターを作成、配布するなどして制度の周知を行ったところ、目標値を上回ることができた。 ・各市町村図書館（室）等へはPRを継続する。 ・県民に対して、横断検索により県内図書館の蔵書を検索できること、他館からも資料を借りることができるという利便性をさらに周知徹底したい。 			

② 横断検索システムの検索件数

指標の説明	県立図書館の横断検索システムは、県内図書館の資料を一元的に検索できるシステムであり、その利用の多少が図書館利用の一つの目安となる。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	334,500	248,176	74.2%	B
目標値設定の考え方	横断検索システムは県民に広く周知が図られ、平成29年度以降は検索件数がゆるやかに増加している。HPのリニューアルもあり、利用の増加を期待して、令和5年度目標は令和4年度目標の105%（100件未満切上）としたい。 (参考実績 R2：264,164件、R3：303,295件、R4：292,957件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・経年変化は別添資料参照 ・各市町村図書館(室)等へのPRを継続する。 ・県民に対して、横断検索により県内図書館の蔵書を検索できること、他館からも資料を借りることができるという利便性をさらに周知徹底したい。 			

4. 県内図書館等に対する支援の充実

①図書館等職員研修参加者数

指標の説明	<p>県立図書館が開催する研修会の開催状況は、人材育成支援充実の目安となるため、特に、実務的な内容の「図書館(室)職員司書実務研修」と、学校図書館の活用促進を内容とする「学校図書館研修会」を取り上げ、二つの研修会の参加人数を指標として設定する。</p>			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	255	244	95.7%	A
目標値設定の考え方	<p>オンライン研修が定着したことから、物理的な制約を受けずに研修生を募集できるようになったことを踏まえ、令和5年度は令和4年度と同様に「図書館(室)職員司書実務研修」で130名、学校図書館研修会で125名、合計255人を目標値とする。 (参考実績 R2：112人、R3：277人、R4：261人)</p>			
取組状況と今後の方針	<p>・新型コロナウイルス感染症が5類移行したことにより、対面とオンラインの2本立てで可能になったこと等から、目標をほぼ達成できた。</p> <p>・その一方、オンラインを導入したことにより、</p> <p>① オンラインに参加者が偏り、対面での参加者が減少</p> <p>② ①により参加者同士の交流が困難</p> <p>③ ①により講師が参加者の様子をリアルタイムで把握できず、研修効果を最大化できない可能性あり</p> <p>など検討すべき新たな課題がある。</p>			

②協力レファレンス件数

指標の説明	<p>地域の情報拠点として、県内の公共図書館や学校・大学図書館で解決できないレファレンス事案について、高度な質問に対応できる専門性を備えた職員が所蔵するレファレンスツール（辞書・事典、各種データベース等）や専門的資料を活用して解決の支援を行う。</p>			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	59	61	103.4%	A
目標値設定の考え方	<p>「協力レファレンス件数」は令和2年度に新設した評価指標であるが、令和3年度、4年度とも目標の達成が困難となっている。そこで、令和5年度については4年度に達成できなかった目標値と同件数を設定し、4年度に実施した「レファレンスに関するアンケート」の結果等を参考にしながら目標の達成を目指す。 (参考実績 R2：72件、R3：46件、R4：36件)</p>			
取組状況と今後の方針	<p>・協力レファレンスサービスを周知するため、「協力レファレンス通信」（全7号）の発行、図書館員専用ページの情報交換掲示板の活用、学校図書館へのメールによる利用案内等を実施。</p> <p>・今後も県内図書館に対する支援の一環として、協力レファレンスサービスの一層の利用促進を図る。</p> <p>・なお、協力レファレンスは、群馬県立図書館の在り方検討報告書（令和5年3月）において、目指す姿を実現するために注力する役割・機能に位置付けられている。取組状況について継続して報告する。</p>			

③学習支援図書貸出数

指標の説明	学習支援図書セットの貸出状況は、小・中・高等学校における学習活動での図書活用の目安となるため、学習支援図書貸出冊数を指標として設定する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	6,500	5,216	80.2%	B
目標値設定の考え方	各学校のニーズを的確に把握することを継続し、令和3年度に達成できなかった目標値と同冊数を今年度の目標とする。 (参考実績 R2：6,525冊、R3：5,795冊、R4：5,113冊)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に1人1台の端末が整備されるなど教育のデジタル化が進み、学校図書館の役割に変化が生じている。 ・学習支援図書セットを利用を継続している学校や、利用を中断した学校の現状やニーズ等を把握し、今後の取組に反映する。 			

5. 群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存

①郷土資料受入冊数

指標の説明	群馬県関係資料の県内最終保存館として、図書資料・視聴覚資料を問わず群馬県関連資料を網羅的に収集する。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	2,200	2,670	121.4%	A
目標値設定の考え方	郷土資料は一般の流通ルートに乗らない非商業出版物が多く、年間の出版点数を把握することが難しい。地方出版の発行点数が下がっている状況等を勘案し、令和5年度の目標値は、令和2、3年度の目標値と同数の2,200冊とする。 (参考実績 R2：2,222件、R3：2,418件、R4：2,273件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等に掲載される出版関係記事や出版目録、各種カタログ等から郷土資料の出版情報を把握して購入や寄贈依頼を行ったほか、Web古書店を活用し、既刊未所蔵資料の収集にも努めた。 ・行政資料は、通常の新刊収集に加え、未所蔵の過年度発行資料を調査し、収集した。 ・今後も群馬県関係資料の網羅的な収集を継続する。 			

② デジタルライブラリーへのアクセス件数

指標の説明	郷土資料や貴重書をデジタル化してインターネット上で公開するデジタルライブラリーにより、所蔵資料の保存と利用の促進を図る。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	30,000	24,661	82.2%	B
目標値設定の考え方	これまでの実績から令和4年度の総アクセス数は30,000件と見込む。県域化事業の進展によるコンテンツ内容充実により、アクセス数増加が想定されることから令和4年度実績の見込みを目標値とする。 (参考実績 R2 : 17,922件、R3 : 25,187件、R4 : 30,318件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度実績(30,318件)と比較して、アクセス数が減少した。(別添資料参照) ・動画制作等の広報活動を強化し、デジタルアーカイブの周知を図りたい。 ・今後、デジタルアーカイブの活用方法の提案や、テーマ展示等の検討を進めたい。 			

6. 情報発信の充実等

① ホームページアクセス件数

指標の説明	ホームページの利活用の増進を図る。 件数はページビュー数（Web ページ閲覧数）とする。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	843,000	975,997	115.8%	A
目標値設定の考え方	ホームページアクセス件数は、令和元年度以降は減少傾向にあったが、令和4年度は新型コロナウイルスによる外出自粛が鎮静化した影響か、12月末時点で令和3年度比約34%の増加となった。よって令和5年度の目標値は、令和4年度目標値の110%（1,000件未満切捨て）としたい。 (参考実績 R2 : 767,836件、R3 : 717,916件、R4 : 926,593件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス件数は令和3年度までは減少傾向にあった。 ・令和5年1月のホームページのリニューアル、電子書籍サービス・オンライン利用者登録開始の効果もあり、大幅に増加したと考えられる。 ・今後も利便性の向上、情報の充実等を図り、アクセス件数の増加に努めたい。 			

②メディア掲載等件数

指標の説明	県立図書館で実施する資料展示等の事業やボランティア活動などについて、新聞社等に積極的な情報発信を行い、利用の促進を図る。			
目標値の達成状況	目標値	実績／達成率		評価
	34	53	155.9%	A
目標値設定の考え方	企画展示、各種イベントの開催について報道機関への情報提供を積極的に行い、令和4年度と同件数を目標値とする。 (参考実績 R2：25件、R3：24件、R4：20件)			
取組状況と今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への情報提供件数 50件 ・メディア等掲載件数 53件 <p>なお、この他に読者投稿 3件、他の記事に県立図書館が引用された件数 6件があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展示やイベント等の充実に努めるとともに、引き続き報道機関へ積極的に情報提供を行う。 			